

地域とともにある学校を目指して



ふしみ☆CS通信 No.3

北海道札幌伏見支援学校もなみ学園分校

12月10日（水）、今年度3回目となる学校運営協議会を開催しました。各分掌部から活動の取組内容や、今後の予定について説明をしたあと、熟議の柱に沿って熟議をしました。委員の皆様や教職員から、忌憚のない意見や感想が出されましたので、一部を紹介します。

今年度の取組

第1回 学校経営方針の承認

学校運営の方向性の確立

教育の実践

第2回 学校運営や必要な 支援に関する協議①

学校経営方針に基づく
教育実践の充実

委員による授業等の参観、
給食の試食

第3回 学校運営や必要な 支援に関する協議②

教育実践の改善
地域との連携・協働

教育の実践

第4回 学校運営の状況に 関する評価

学校運営の
総括的評価と改善

第2回 学校運営や必要な支援に関する協議①

〔熟議の柱〕 子どもの育ちに必要なもの、子どもたちに伝えたいこと など

□ 人と接する機会の大切さ

- ・地域のお祭りに参加したり、学校祭にボランティアで来てもらったりするなど、交流を通して学校外の方々と関わる体験は大切である。
- ・高等部祭の総練習に小・中学部の児童生徒が来て交流することは、お互いにより経験となる。



□ 人と関わる力の育成のために

- ・成長の段階に応じて、人との関わりを広げていく体験を積んでほしい。
- ・移動支援や行動援護等の福祉サービスを利用して、保護者以外の人と過ごすこともよい経験となる。



委員による授業等の参観、給食の試食

11月26日（水） 10:30～13:00

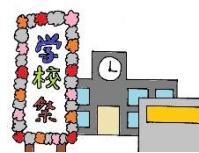
- ①学校公開（授業参観） 10:30～12:00
②給食の試食会 12:00～13:00

第3回 学校運営や必要な支援に関する協議②

〔熟議の柱〕 学校が目指す教育の在り方、学校に 求める役割や意義 など

□ 地域への情報発信

- ・学校祭や高等部販売会、「ほっこりふれあいプロジェクト」など、児童生徒の発表の機会を、もっと地域の方々に発信して見に来ていただくことが大切である。



□ ICTの活用による情報発信

- ・ホームページを見に来ていただくため、動画を掲載したりSNSを利用したりするなど工夫する必要がある。

